

Actifoliate™

(アクチフォリエイト)

低刺激で効果的な角質除去成分

★角層の剥離を促進するカセプシンD様酵素と同じ働きを有するキノコ類のムコールミエヘイ (*Mucor miehei*) エキスでターンオーバーを促進しながら、保湿成分で乾燥を防ぐ。

★皮膚の透明度、輝き、滑らかさが高まる。

★ケミカルピーリング剤と比較して刺激反応が低い。

【機能・特徴】

若くて正常な肌は28日でターンオーバーするといわれています。しかし、加齢に伴い、角質細胞が剥がれ落ちるまでの時間が長くなり、ザラつきやくすみ肌を引き起こします。

一般的にこれらを改善するためにケミカルピーリングやスクラブ剤が用いられています。しかし、角質を除去することによって天然保湿因子 (NMF) も失われ、水分レベルが減少することにより、乾燥が促進されます。

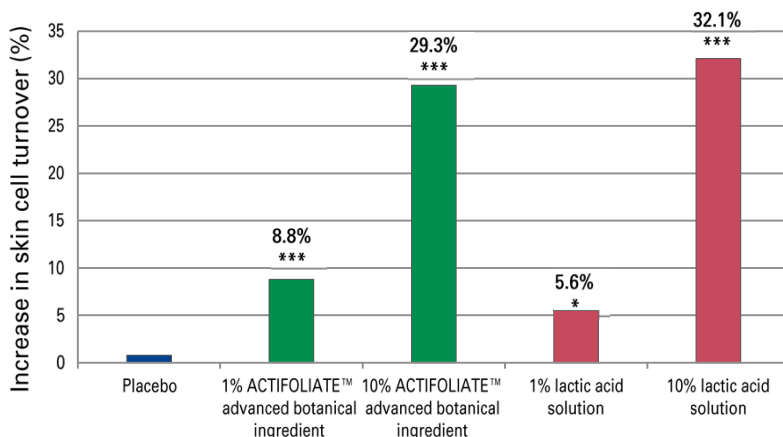
ACTIFOLIATE™ はキノコ類のムコールミエヘイの抽出エキスに保湿因子である尿素とヒアルロン酸の前駆体であるグルコサミンを組み合わせた原料です。本原料はマイルドで効果的な角質を除去し、より滑らかで若々しい肌への保湿力を改善します。

* 角層剥離を調節するカセプシンD様酵素については、ムコールミエヘイの抽出エキスを配合したActizyme™製品の資料を参照下さい。



①ターンオーバー促進効果 (in vivo)

試験対象 : ボランティア12名で評価



■結果

乳酸と同程度のターンオーバー促進作用を示した。

■試験方法

- ①前腕をダンシルクロリドで染色
- ②各クリームを1日に2回塗布
- ③染色が完全に除去されるまで継続

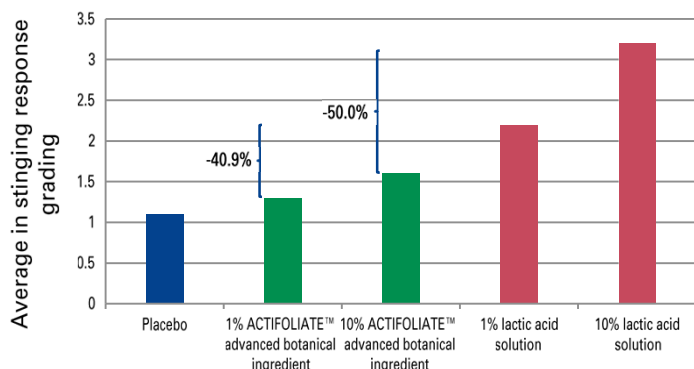
■クリーム

- ・プラセボクリーム
- ・1% ACTIFOLIATE™クリーム
- ・10%ACTIFOLIATE™クリーム
- ・1%乳酸クリーム
- ・10%乳酸クリーム

※一般的に知られているピーリング成分のAHA (alpha hydroxy acid) とは乳酸、グリコール酸などのこと

②刺激反応試験 (in vivo)

試験対象 : ボランティア12名で評価



■試験方法

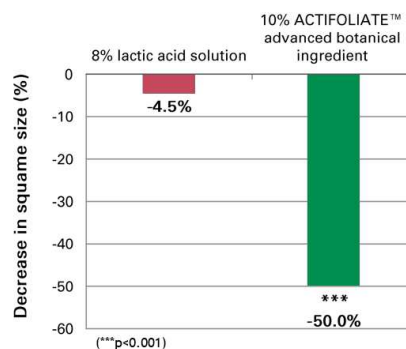
- ①鼻回りに各クリームを塗布
- ②15分後、官能評価し、その平均値を算出 (0~4の4段階)

■結果

乳酸の半分程度の刺激性

③角質細胞サイズ (in vivo)

試験対象 : ボランティア20名で評価



■試験方法

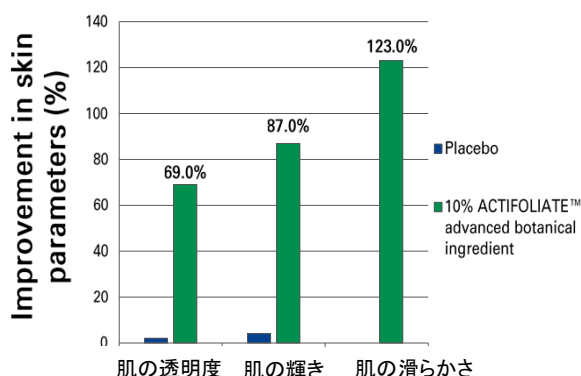
- ①クリームをふくらはぎに1日2回、28日間連続塗布。塗布前および連用後にテープストリッピングにて角層を採取
- ②顕微鏡で評価 (1日2回、28日間)

■結果

連用により角質細胞のサイズが小さくなった

④官能評価 (In vivo)

試験対象 : ボランティア20名で評価



■試験方法

10% ACTIFOLIATE™とプラセボクリームで官能評価 (0~6の7段階)

■結果

肌の透明度、輝き、なめらかさに関して改善効果を実感した。

結果

- ★乳酸より低刺激で、同等のターンオーバー効果が認められた。
- ★被検者が皮膚の透明度、輝き、滑らかさの高い実感効果を感じた。

【商品情報】

商品名 : ACTIFOLIATE™ advanced botanical ingredient

表示名称 : グリセリン、水、グルコサミンHCl、尿素、ムコールミエヘイエキス、クエン酸Na、安息香酸Na、ソルビン酸K、EDTA-2Na

推奨配合量 : 1-10%

製造元 : 日本ルーブリゾール



2020/4/21

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。



株式会社 マツモト交商
www.matsumoto-trd.co.jp